

縁側 畳屋兄ちゃんの 世間話

最新の!? 発電機

水と塩で発電するランタンや小型発電機がインターネットで販売されている。スイスの自動車メーカーから、塩水を循環させて発電する電気自動車がモーターショーで発表された。航続距離はなんと600km! 塩水とマグネシウム棒だけで発電が可能で、水しか排出しないから環境にも優しい。

トヨタが水素自動車を開発して販売する様子ですが、塩水発電と同じような気がします。水素自動車の補助金300万円決定ですって! 国民の税金を使いすぎでしょ! というか、原発も海沿いにばかり有りますよね、実は塩水発電だったりして(笑)塩と水とマグネシウムだけで済むなら、経費はタダも同然ですよ。各家庭で発電できたら電柱もいらなかも。

畳屋兄ちゃん通信も、30帖まで続いて発行する事となりました。

一方的に配布されて読んでいただくスタイルなので、どこの誰が読者なのか全く分からないままの継続なのです。手ごたえはあまり分からない、でもたまに知らない人から「後藤さんですよ、いつも楽しみに読ませてもらってます」と声をかけられて「あ〜……ありがとうございます」と、とりあえず返事をして誰だろうか……読んでいるって事は、通信か!? ン〜…たぶん初対面。

てな感じで、続けてきたことの喜びを感じさせていただいております。地域の方々との一方的な文通、引き続き継続させていただきますので今後とも宜しくお願い致します。いつもありがとうございます♡

☆畳屋兄ちゃん通信は2カ月ごとの発行。総発行部数8000枚。

☆配布は私が4000枚、第2さつき作業所の皆さんが4000枚。

畳屋道場 エトトラック運転手の 独立開業談話

畳屋を開業して「孤独」という恐怖から逃げるかのように、自分以外の人たちと関わりあう機会を増やしてきた。独立開業前の自分はどうだったのか、自分は自分他人は他人と割り切って考えていて、人との関りを避けて自分の殻の中だけで個性を保持していた。自分の可能性や限界は、勝手に自分が決めているだけで実は潜在的な能力を引き出せていない、変えることができるのは自分だしフタをしてしまっているのも自分なのです。誰にでも変わるきっかけがあると思う、それは本かもしれないし映画かもしれないし他人かもしれない。私の場合は開業した年の3月に出会った2人の人物、吹田民主商工会の西尾栄一氏と江坂起業家支援センターの高木学氏でした。自分の考え方生き方を、生まれて初めて認めてもらい評価され引き出された、ダムから水が溢れ出す感覚でした。色んな人の力を借りて生かされている、今度は自分が引き出す側で貢献したい! 事業と社会貢献の両輪を回す日々は続く。

畳屋兄ちゃんからお知らせ

平成29年1月7日でゴトーたたみ製作所は9周年、山田の店舗は開業当初から手狭で、お客様からも「本当にここで畳を作っているんですか?」と言われる事もしばし、畳があふれた時は軽トラックの荷台に積み上げて凌ぐ事もありました。28年4月から豊中の千里中央店を出店し、2店舗体制になるも1店舗1名体制で監視のできないリスクも出てきました。今後は千里中央店に統合という可能性もありますが、変わらぬご愛顧をよろしくお願いします

新調の目安25年 表替の目安10年 ウラ返しの目安5年

9月22日 阪急ライピングスクール服部緑地にて



教習所敷地内でのイベントに出店させていただきました。イベントプロデュースや貸イベントスペース業をやっておられる徳瀬さん「プラスフロートで検索」からお声がけ戴きまして、千里中央店のアピールができました。広いイベントスペースなので、移動動物園の動物ふれあいコーナーや

大阪府警の白バイに乗る体験、ヤマト運輸の自転車宅配体験、阪急バスもイベントを盛り上げていました。ゴトーたたみ製作所はその他の販売体験ブースの一面で、ミニ畳作り体験をやりました。天候は昼過ぎから雨の予報でしたが、小さなお子さんたちが楽しめるイベントに出店出来てとても良かったです。



山田のケーキ屋フリアンディーズさんが楽しいハロウィンイベントを

企画開催して下さいました。10月30・31日の二日間、対象は小学生以下のお子様を保護者同伴で協力店を回り「トリック・オア・トリート」を合言葉にお菓子をもらって歩く。なんとも微笑ましい光景が山田界隈で生まれました。



10年ぶりに趣味のバイクを楽しんできました。生駒市にあるモトクロスコース「ライダーパーク生駒」に工務店の社長さんと協力業者さん バイク屋さんで、接待ゴルフならぬバイク接待をしてきました。のんびりと走る訳にはいかないモトクロスコースですので、カンが戻るまで大変でした。次の日に全身筋肉痛が襲い掛かり、とても大変でしたが、良い気分転換になりました(^_^)



畳業界の本音

その六 イ草の色と品質

畳の表替をしたのですが、両端が白いんです！不良品ではないのですか？
畳オモテの原料、イ草は稲と同じ田んぼで育ち、刈り取った後にすぐ専用の染土に水を加え、泥染め「泥パック」をします。それにより茎表面の葉緑素の酸化を防ぎ、保存の効く状態となります。イ草を一本一本、根っこ先っぽが交互になるように織り込み1枚のゴザを織り上げていきます。両端が白く見えるのは、イ草の根っこの部分が端にきているためであり、決して不良品ではありません。また、染土のブレンド具合によって、白っぽい色になったり緑色が強い畳オモテになったりするのは、私たちが重視しているのは最初の見ただけではなく、数年後もきれいな畳オモテであるかどうかなのです。青い時期は短いので本当の品質の良さはその後です、イ草も人も化粧だけで判断してはいけません。



染土



 [ゴトーたたみ製作所のページが有ります。 いいね！をよろしく！](#)
[ゴトーたたみ製作所千里中央店のページも合わせてよろしく！！](#)

ゴトーたたみ製作所 経営理念

私達は、人 環境に優しい畳を住まいに取り入れる事によって、健康な未来を約束します。

私達は、畳という伝統に創造を加える事により、和の使者となって、最も身近にある幸福と安らぎの空間を提供し、和職派の推進に努めます。

私達は、陽だまりのように温かい経営を通じて、元気で明るい社会と未来を、地域の方々と共に育みます。

ゴトーたたみ製作所 後藤 孝雄

